

資料番号	2
------	---

令和3年12月8日
課名 農林水産局農業経営発展課
担当者 課長 向井
内線 3590

令和4年産主食用米の生産の目安について

1 要旨・目的

本県の令和4年産の主食用米の「生産の目安」を広島県農業再生協議会が設定したので報告する。

2 現状・背景

国は、平成30年産から都道府県別の主食用米の生産数量目標の配分を廃止し、需給均衡が図られると想定される全国での翌年の生産量を「生産量の見通し」として公表することとなったため、広島県農業再生協議会では、需要に応じた主食用米の生産を目指し、翌年、県域で生産すべき量を「生産の目安」として設定し、公表している。

3 概要

(1) 全国の令和4年産主食用米の生産量の見通し（令和3年11月19日 国公表）

国は、「生産量の見通し」を675万トンと設定した。これは、令和4年から5年にかけての主食用米の供給量（令和4年6月末民間在庫量217万トン＋令和4年産生産量）から需要見通し692万トンを差し引き、令和5年6月末民間在庫量が適正在庫量とされる200万トンを超えない水準となるよう設定されたものである。

	生産量の見通し(4年産) ①	今年の生産実績(3年産) ②	今年の生産実績との差 ①－②
生産量	675万トン	701万トン	△26万トン

(2) 広島県の令和4年産主食用米の「生産の目安」

県域での「生産の目安」は、国が示す「生産量の見通し」を参考とした上で、県内の実需者からの聞き取りによる「県産米の需要見通し」を勘案し設定している。

県内の実需者は、コロナ禍の影響により県産米の民間在庫量が増加傾向にあることから、令和4年産の県産米の仕入れ量について、一部の品種で拡大の意向があるものの、総じて減少の意向であった。

これらのことから、令和4年産の「生産の目安」を3年産の生産実績から300トン減少の113,000トンと設定した。

	生産の目安(4年産) ①	今年の生産実績(3年産) ②	今年の生産実績との差 ①－②
生産量	113,000トン	113,300トン	△300トン
面積換算値	21,401ha	21,700ha	△299ha

4 今後の対応

主食用米については、需要に応じた生産を継続していくとともに、需要に対して供給が不足している飼料用米等の非主食用米への作付の取組を進め、主食用米と非主食用米の組み合わせにより、今後、変化する需要に柔軟に対応できるよう水稻の生産基盤を維持していく。